

浦安市児童家庭課と父母の会懇談会議事録

開催場所：浦安市文化会館 3階 第一練習室

日時：平成12年5月23日(火)

出席者

児童家庭課：浅井課長、小滝課長補佐、井上係長、大塚副主査、小林副主査

保護者：当代島保育園父母の会、猫実保育園父母の会、東野保育園父母の会、富岡保育園父母の会、入船保育園父母の会、日の出保育園父母の会、高洲保育園父母の会、学童クラブ父母の会代表

議事内容

1 児童家庭課の皆さんの自己紹介

(1) 浅井課長

選挙管理委員会から児童家庭課に4月1日付けで異動した。今回の市の人事異動は、15年ぶりの大異動であった。選挙管理委員会に在職中は、一月に250以上の残業があった。

(2) 小滝課長補佐

児童家庭課勤務は今年で2年目になる。市役所に入所した20前にも児童家庭課勤務の経験がある。当時は、現在県議会議員の小松さんが父母の会のとりまとめをなさっていた。保育園の状況も現在に比較すると課題が多い時代で、ずいぶん手厳しいご指摘をいただいた記憶がある。その時代と比べると、現在は話し合い自体非常に和やかで、保育事情も向上している印象を受ける。

2 平成12年度の保育行政の取組について

12年度の市の一般会計予算は、437億円。昨年度485億円と比較すると9.2%のマイナスとなる。そのうち、保育関係の予算は、21億円。昨年度比で10.9%のマイナスである。昨年度の高洲保育園の建設費・什器類等の設立資金と、少子化対策臨時特例交付金事業への市の独自の資質を考慮すれば実質はプラスである。

保育施策については、浦安市基本構想に基づく「やさしく、思いやりのある福祉」を目標に展開していく。大きな柱は、次の4点である。

- エンゼルプラン
- 保育園の分園設置
- 既設保育園の施設整備
- 児童館

(1) エンゼルプランについて

国が平成6年にエンゼルプランを策定し、その後平成9年に新エンゼルプランの策定を行った。千葉県では、平成8年に千葉県子供プランを策定している。これらをふまえて、市としてのエンゼルプランを策定する。

(2) 保育園の分園について

高洲保育園の開園後も待機児は、全て解消されたわけではない。この対策として、平成13年度の開所を目標として、分園の設置を進める。設置する場所、方法等については現在未定である。

(3) 保育園の整備について

浦安市の人口は、平成18年には18万人に増加すると予想されている。児童の増加と、女性の就労形態の変化等により、今後も保育需要は高まっていくものと考えられる。現在浦安市には、公立7園、

私立（認可園）1園、私立（無認可園）15園の保育所がある。保育需要に対応するため、既設保育園を含めた整備を実施していく。

(4) 児童館の整備

現在、東野にある総合福祉センター内に児童館を設置しているが、必ずしも本来の児童館の機能を果たしているとはいえない。設置場所、運営方式等の検討を進め、児童館の整備を実施していく予定である。

3 少子化対策臨時特例交付金について

交付金の対象事業規模は、国からの2億8500万円プラス浦安市の独自支出7000万円で、合計3億5500万円となっている。保育関連事業としては、1億6000万円を予定している。具体的な事業は次の通りである。

(1) 保育関連事業

入船保育園改修事業（6100万円）

保育園は日曜日以外は開園しているため、工事に当たっては相当な配慮が必要と考えている。すでに、市の営繕課とは一度話し合いを持っている。今後は、父母の会とも連絡を取りながらスムーズに工事を進めていきたい。6月から着手する予定である。

猫実・富岡保育園電気設備改修事業（2500万円）

秋の着工を予定している。

入所円滑化備品購入代（100万円）

待機児解消のための、ロッカー、下駄箱、机等の購入を予定している。

簡易保育所等設備整備補助金（440万円）

(2) 児童育成クラブ関連事業

東小学校地区児童育成クラブ施設建設事業（2714万円）

南小学校地区児童育成クラブ施設建設事業（4400万円）

美浜南小学校地区児童育成クラブ施設増設工事（624万円）

富岡小学校地区児童育成クラブ施設増設工事（420万円）

4 人事異動について

今年度の異動は、市制開始以来最大の人事異動であった。公立園の園長については、行政職の課長クラスを3名配置している。当代島、猫実、入船の3園である。園長職については、保育し経験者がベストであることは認識している。しかし、現在の浦安市の保育士で副園長クラスの平均年齢は41歳から42歳であり、大勢の子供たちを預かる保育園の園長としては責任が重すぎると判断している。いずれは、園長職への登用を考えている。

5 分園の設置について

昨年7月に高洲保育園をオープンしたが、待機児は依然として多い状況である。保育園の新設が最も望ましい施策ではあるが、高洲保育園規模の園を設立するためには、4億から5億円の費用が必要となる。従って、新園設置は容易ではない。そこで、待機児解消に向けた分園の設置を計画している。

国の基準では、分園の定員は30人未満、本園からの距離が30分以内となっている。当初、現在定員割れとなっている公立幼稚園（市内15園）の利用も検討した。しかし、教育委員会では、空き教室を利用した預かり保育を試行するとのことで、この計画は白紙となった。現時点では、具体的な場所、運営方針

は未定である。13年度の設置に向け、7月には結論を出したいと考えている。先日の市長との話し合いでは、幼稚園に限定せず、様々な公共施設も検討に入れてはどうかというご意見をいただいている。

6 質疑応答

Q：分園を開設した場合園長は常駐しないのか。その場合の責任は誰がとることになるのか。（父母の会）

A：園長は、あくまで本園の園長である。保育中の責任は園長にある。（市）

要望：分園を設置した際に、本園と分園とで保育内容に格差が生じることの内容に配慮して欲しい。（父母の会）

A：設置に当たっては、十分注意する。（市）

Q：高洲保育園設置の4億から5億円の費用の内訳は、どのような物か。（父母の会）

A：詳細な費用内訳は現在手元にないが、建設費だけではなく、什器類、備品等全て含んだ額である。（市）

Q：建設に高額な費用がかかるので有れば高洲保育園のような立派な建物でなくてもよいのではないのか。（父母の会）

A：今後、保育園の設置に当たっては、様々な方法が考えられる。運営方式についても、公設民営等の方式も考えられる。民間保育園の事例も参考にして、経営のノウハウを学んでいく必要がある。（市）

Q：昨年11月の話し合いでお願いしていた、猫実保育園の窓枠の改修については今年度実施していただけるのか。（父母の会）

A：引き継いだばかりで、まだ確認していないがおそらく実施できる見込みである。（市）

要望：保育園の民営化については、他の一部の自治体で実施が開始されているが、浦安市の保育園は是非公設公営の運営を続けていただきたい。八千代市の例をみると、予算削減といいながら結局は費用が増えたり、保育の質の低下が起きている。給食の点も併せて、公設でお願いしたい。（父母の会）

A：現在の公立7園を民営化する事は考えていない。確かに民営化して、保育のレベルが下がっては意味がない。今後の保育園の整備を考える上で私立あるいは民営化された園のよい点は、大いに学んでいきたいと考えている。埼玉県新座市での、公設公営での分園化の事例なども参考にしていきたい。（市）

Q：今年度における保育園の整備事業の説明の中で、働く女性のための施策というお話があったが具体的にはどのような内容か。（父母の会）

A：まだ、具体的な計画は無し。（市）

Q：今年度の各園の園児数は、4月でほぼ満杯状態であるが、更に定員を増やす計画はあるか。（父母の会）

A：現在の公立7園+みのり保育園の定員は、1270名である。国の規定では、15%までは受け入れてもよいことになっている。今後、やむを得ず定員以上の子供を受け入れる場合でも、保育士の対数の基準は維持する。従って、子供の増加に合わせて保育士も増やすことになる。（市）

要望+Q：児童育成クラブの青少年課から児童家庭課への移管平成13または14年度と伺っているが、具体的な時期はいつか。現在、各クラブの運営委員長は、父母の代表が務めている。これは、保育園で言えば、園長先生を父母の会の会長が兼務していることと同じである。運営上の責任についても非常に曖昧な状態である。早く改善を実施して欲しい。

また、公設公営を実施する場合にも、船橋市で問題となったような指導員の先生へのひどい処遇は決

して行わないで欲しい。(父母の会)

A: 少なくとも13年度については未定である。青少年課においては移管をふまえた組織は作った。現在、児童家庭課の職員数は、保育士を含めると433名(正規227名、臨時206名)である。市の職員全体でも1387名であり、今後児童育成クラブを移管するとしても、組織改正は必要であろう。

公設化についても、船橋市の例は反面教師として、同じ轍を踏まないよう努力したい。千葉市では、児童育成クラブの運営を社会福祉協議会に委託している例などもある。今後、調査していきたい。(市)

Q: 12年度から、保育園の外遊び用帽子が保護者負担となったのはなぜか。(父母の会)

A: 11年度の副園長会議で提案されその後、園長会議で承認されたため実施した。理由としては、消耗が激しいことと、個人で使用するものなので衛生面の問題があるとのことだった。(市)

要望: 当代島保育園では、今年の4月に全員の帽子が新調されたばかりであった。にもかかわらず、新しい帽子を廃棄処分として、保護者に再度新しい帽子を負担させるやり方は納得ができない。いずれは、保護者負担とするとしても、新品をいきなり捨ててまで実施する必要はないし、財政的にも大きな無駄である。特に、保育料を免除されている世帯では負担に感じたはずである。今後新しい方式を導入する際は、各園の事情に合わせた段階的なまたは弾力的な導入をして欲しい。(父母の会)

要望: 人事異動をする際に、子供たちの立場を最優先して実施して欲しい。昨年度、一歳児クラスで育児休業されていた先生が復帰され、それまでの担任が替わった。ただし、その時期が3月であり、新しい先生はわずか一ヶ月だけの担任だった。さらには、4月になってまた担任の先生が、元の先生に戻ってしまった。小さい子供たちにとっては、担任の先生が短期間にころころ変わると言うことは非常に大きな負担であり、とまどってしまう。十分子供たちの事情を考慮した異動を行って欲しい。(父母の会)

A: 指摘されていることは、もっともな話である。今後、園長会議で各園の園長にも指示する。(市)

要望: クラス編成の情報をもっと早く保護者に伝えて欲しい。富岡で、2歳児クラスが急に2クラスに分かれることになったが、知らされたのは、進級直前だった。(父母の会)

A: 情報提供は、極力早めに実施するようにしたい。(市)

要望: 2歳児クラスから3歳児クラスにあがると急に対数が増える。年齢が上がっても、急に子供たちが成長するわけではないので、3歳児クラスの対数を見直して欲しい。(父母の会)

A: 現在、浦安市の3歳児クラスの対数は、実質13名から15名程度であり、フリー保母を配置する等配慮をしており、これ以上は増やす予定はない。(市)

要望: 0歳児クラスの保育室への入室を許可して欲しい。また、一回の授乳量を弾力的に調節して欲しい。お昼は200ccでも、お迎え直前の午後4時ごろは、100ccで足りてしまう。(父母の会)

要望: 昨年11月の話し合いの時に私たちからお願いした要望事項について、フォローをお願いしたい。実施できるのかできないのか、及びその理由を知らせて欲しい。後日、昨年度のお願い事項を再度お知らせする。(父母の会)

要望: 私たち父母の会の活動をしていく上で、園とのコミュニケーションは大変重要と考えている。児童家庭課の方々とは本日の会合のように非常に円滑に話ができるのに、園の園長先生や副園長先生と話をして、市の方針等を理由にお願いが聞き入れられない場合が多々ある。本来、園レベルで解決できる問題のはずなのに、門前払い的に処理されてしまう。何とか、改善をお願いしたい。(父母の会)

A: この問題は、園長会議にも諮っていきたい。ただし、児童家庭課からの指示は、場合によっては非常に大きな圧力になる場合もあるので注意を要する。いずれにしても、アカウンタビリティは非常に大切である。皆さんの申し入れに対して、だめならなぜだめなのかを説明する必要があると思う。(市)